



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月7日

上場取引所 東

上場会社名 川澄化学工業

コード番号 7703 URL <http://www.kawasumi.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 川野 幸博

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長

(氏名) 岡本 稔

TEL 03-5769-2600

四半期報告書提出予定日 平成25年2月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	20,544	△11.0	495	△69.7	748	△48.4	△110	—
24年3月期第3四半期	23,086	△3.9	1,635	△14.7	1,451	△20.1	△674	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 303百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 △1,590百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△4.85	—
24年3月期第3四半期	△29.52	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	39,842	32,593	81.2	1,414.75
24年3月期	40,530	32,636	80.0	1,417.15

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 32,352百万円 24年3月期 32,407百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
25年3月期	—	7.50	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,300	△6.7	750	△48.7	1,000	△36.3	800	△46.7	38.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	22,948,003 株	24年3月期	22,948,003 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	80,224 株	24年3月期	80,127 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	22,867,814 株	24年3月期3Q	22,868,011 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は添付資料の3ページをご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

平成23年3月期より取り組んでまいりました「Create New Values for the Customers」をテーマとする3ヵ年の中期経営計画は、今年度が最終年度となりました。これまで積み残した課題を整理、完了し、将来にわたって持続的に成長できる企業を目指して活動を行ってまいります。

前年度は、東日本大震災、タイ国大規模洪水が、当社グループの経営環境に大きな影響を及ぼしましたが、当年度4月のタイ国生産子会社のナワナコーン工場での生産再開をはじめとして、コラート工場における血液バッグの新工場等も建設中であり、復興計画にそって生産供給体制の整備を進めております。

当第3四半期連結累計期間の経営成績については以下のとおりです。

<売上高>

売上高は、血液浄化製品やAVF針などが前年同期に比べ好調に推移した一方、不採算品を整理したことおよびタイ洪水の影響を受けた血液回路と海外向け血液バッグの販売減少などにより、前年同期に比べ25億41百万円減の205億44百万円（前年同期比11.0%減）となりました。国内・海外別の売上高につきましては、国内売上高は、前年同期に比べ13億97百万円減の162億93百万円（同7.9%減）、海外売上高は、前年同期に比べ11億43百万円減の42億51百万円（同21.2%減）となりました。

<売上総利益・営業利益>

売上高減少やタイ国子会社における賃金アップ、タイ洪水に伴うコストアップなどの影響により、売上総利益は、前年同期に比べ10億98百万円減の64億88百万円（同14.5%減）となりました。なお、売上原価率は、前年同期に比べ1.27ポイント上昇し、68.4%となっております。

また、販売費及び一般管理費は、研究開発費の増加により、前年同期に比べ41百万円増の59億93百万円（同0.7%増）となりました。

これにより、営業利益は、前年同期に比べ11億39百万円減の4億95百万円となりました。

<経常利益>

経常利益は、補助金による収入や為替差益があったものの、営業利益減少の影響により、前年同期に比べ7億3百万円減の7億48百万円となりました。

<四半期純利益>

四半期純利益は、前年同期に比べタイ洪水に関する損失計上額が縮小されたことなどにより、1億10百万円の損失となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①血液及び血管内関連

国内向け血液バッグが販売先の前期末在庫積み増しの反動影響を受けたこと、海外向け血液バッグの生産高が国内工場での代替生産では洪水前の水準に及ばなかったことなどから、売上高は、前年同期に比べ9億17百万円減の90億55百万円（同9.2%減）、セグメント利益は、前年同期に比べ3億12百万円減の9億23百万円（同25.3%減）となりました。

②体外循環関連

血液浄化製品やAVF針の販売が好調に推移した一方、不採算品の整理を行なった影響や、血液回路の供給体制が回復途上であったことなどから、売上高は、前年同期に比べ16億22百万円減の114億89百万円（同12.4%減）、セグメント利益は、前年同期に比べ7億60百万円減の4億27百万円の損失となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ6億87百万円減の398億42百万円となりました。

流動資産は、主として現金及び預金の減少により、24億65百万円減の218億53百万円となりました。

固定資産は、有形固定資産（建物及び構築物、機械装置及び運搬具）の増加により、17億77百万円増の179億89百万円となりました。

流動負債は、主として支払手形及び買掛金の減少により、6億73百万円減の48億87百万円となりました。

固定負債は、主として退職給付引当金の増加により、27百万円増の23億61百万円となりました。

純資産は、主として利益剰余金の減少により、42百万円減の325億93百万円となりました。

これらの結果、自己資本比率は81.2%となり、前連結会計年度末と比べ、1.2ポイント増となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前年同期に比べ21億66百万円減の67億19百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの内容は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、5億60百万円の収入（前年同期は33億55百万円の収入）となりました。主な内容は、減価償却費の17億97百万円、たな卸資産の増加による支出の10億15百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、34億54百万円の支出（前年同期は20億23百万円の支出）となりました。主な内容は、有形固定資産の取得による支出の34億91百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、3億63百万円の支出（前年同期は3億59百万円の支出）となりました。主な内容は、配当金の支払の3億42百万円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

洪水後の販売回復の進捗遅れにより売上高が7億円減少し、また為替変動に伴うタイ国子会社の原価高要因の影響を受け、前回見通しに対し営業利益は6億90百万円減少し、7億50百万円、経常利益は3億10百万円減少し、10億円となる見込みであります。

一方で、前年度のタイ国大規模洪水に伴う保険金の追加内払金の受取額の計上が見込まれることになったため、当期純利益は5億60百万円増加し、8億円となる見込みであります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,018	6,732
受取手形及び売掛金	8,274	8,010
商品及び製品	3,112	4,127
仕掛品	744	687
原材料及び貯蔵品	1,408	1,571
その他	761	724
貸倒引当金	△0	△1
流動資産合計	24,318	21,853
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,198	6,746
機械装置及び運搬具（純額）	3,750	4,013
その他（純額）	2,842	4,038
有形固定資産合計	12,791	14,798
無形固定資産		
のれん	180	126
特許等実施権	133	58
その他	269	228
無形固定資産合計	582	412
投資その他の資産		
投資有価証券	1,895	1,845
その他	985	977
貸倒引当金	△42	△43
投資その他の資産合計	2,837	2,778
固定資産合計	16,212	17,989
資産合計	40,530	39,842
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,122	2,382
未払法人税等	165	45
引当金	324	64
その他	1,948	2,394
流動負債合計	5,560	4,887
固定負債		
退職給付引当金	1,741	1,808
負ののれん	28	11
その他	563	541
固定負債合計	2,333	2,361
負債合計	7,894	7,248

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,642	6,642
資本剰余金	6,462	6,462
利益剰余金	21,969	21,515
自己株式	△56	△56
株主資本合計	35,017	34,563
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△261	△268
為替換算調整勘定	△2,348	△1,942
その他の包括利益累計額合計	△2,610	△2,211
少数株主持分	229	241
純資産合計	32,636	32,593
負債純資産合計	40,530	39,842

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	23,086	20,544
売上原価	15,499	14,055
売上総利益	7,586	6,488
販売費及び一般管理費	5,951	5,993
営業利益	1,635	495
営業外収益		
受取利息	3	17
受取配当金	17	18
負ののれん償却額	16	16
持分法による投資利益	30	4
補助金収入	—	126
為替差益	—	64
作業くず売却収入	36	39
その他	76	70
営業外収益合計	181	359
営業外費用		
支払利息	3	11
減価償却費	14	17
為替差損	264	—
その他	82	78
営業外費用合計	364	106
経常利益	1,451	748
特別利益		
固定資産売却益	1	0
投資有価証券売却益	3	8
特別利益合計	4	8
特別損失		
固定資産除売却損	14	18
投資有価証券評価損	318	—
災害による損失	1,728	569
その他	0	1
特別損失合計	2,062	589
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△606	167
法人税、住民税及び事業税	155	194
法人税等調整額	△95	76
法人税等合計	59	271
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△666	△103
少数株主利益	8	7
四半期純損失(△)	△674	△110

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△666	△103
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△105	△7
為替換算調整勘定	△818	413
持分法適用会社に対する持分相当額	0	—
その他の包括利益合計	△923	406
四半期包括利益	△1,590	303
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,575	288
少数株主に係る四半期包括利益	△15	15

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△606	167
減価償却費	1,818	1,797
有形固定資産除却損	14	18
有形固定資産売却損益(△は益)	△1	△0
投資有価証券売却損益(△は益)	△3	△8
投資有価証券評価損益(△は益)	318	—
負ののれん償却額	△16	△16
引当金の増減額(△は減少)	△165	△213
受取利息及び受取配当金	△20	△36
支払利息	3	11
災害損失	1,545	400
持分法による投資損益(△は益)	△30	△4
売上債権の増減額(△は増加)	△353	371
たな卸資産の増減額(△は増加)	△330	△1,015
仕入債務の増減額(△は減少)	615	△746
その他	75	124
小計	2,863	848
利息及び配当金の受取額	14	38
利息の支払額	△3	△11
法人税等の支払額	△842	△315
法人税等の還付額	5	—
仮払保険金の受取額	1,318	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,355	560
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,003	△3,491
無形固定資産の取得による支出	△29	△28
有形固定資産の売却による収入	13	0
投資有価証券の取得による支出	—	△7
投資有価証券の売却による収入	3	64
その他	△8	8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,023	△3,454
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の増減額(△は増加)	△0	△0
配当金の支払額	△340	△342
少数株主への配当金の支払額	△2	△2
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△15	△17
財務活動によるキャッシュ・フロー	△359	△363
現金及び現金同等物に係る換算差額	△132	△28
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	839	△3,286
現金及び現金同等物の期首残高	8,046	10,005
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,886	6,719

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	血液及び血管 内関連 (百万円)	体外循環 関連 (百万円)	合計 (百万円)	調整額 (百万円) (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	9,973	13,112	23,086	—	23,086
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	9,973	13,112	23,086	—	23,086
セグメント利益	1,236	332	1,569	66	1,635

(注) 1. セグメント利益の調整額66百万円は、各報告セグメントに未配分の連結調整項目であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 地域に関する情報

前第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

売上高

米州 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア・ オセアニア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)
2,647	840	1,543	362	5,394

(注) 1. 地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な内訳は次のとおりであります。

(1) 米 州……………米国、メキシコ 他

(2) 欧 州……………ドイツ、スペイン 他

(3) アジア・オセアニア……………タイ、台湾 他

(4) そ の 他……………トルコ、サウジアラビア 他

3. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の地域における売上高であります。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	血液及び血管 内関連 (百万円)	体外循環 関連 (百万円)	合計 (百万円)	調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注)
売上高					
外部顧客への売上高	9,055	11,489	20,544	—	20,544
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	9,055	11,489	20,544	—	20,544
セグメント利益	923	△427	495	—	495

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 地域に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）

売上高

米州 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア・ オセアニア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)
1,974	564	1,510	201	4,251

(注) 1. 地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な内訳は次のとおりであります。

- (1) 米 州……………米国、メキシコ 他
- (2) 欧 州……………ドイツ、スペイン 他
- (3) アジア・オセアニア……………タイ、台湾 他
- (4) そ の 他……………トルコ、サウジアラビア 他

3. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の地域における売上高であります。